

に、研究の目的・提供して頂く試料、試料の採取方法、試料の使用法、試料の管理と保管、試料提供に伴う利益・不利益、自由意思による同意と同意撤回の自由、研究への参加を断っても診療上の不利益は受けないこと、プライバシーの保護、個人の解析結果の開示、倫理性の審査、研究に関わる費用、研究結果の公開、に関して説明し、十分な理解を得られた後に研究参加に同意する場合には同意書に自筆署名を得る形式をもって書面で同意を得た。また各研究参加施設において連結可能匿名化された試料が東京大学腎臓・内分泌内科に送付され、切り離された個人情報は各研究参加施設において厳重に管理されている。以上の事項については、東京大学医学部倫理委員会において審査され承認（承認日：平成 24 年 3 月 19 日 審査番号 3735）されており、また、各研究参加施設においても倫理委員会の承認が得られている。

### C. 研究結果

平成 25 年 1 月 27 日現在、計 5 施設で採取された計 71 検体の測定を行った。原疾患の内訳は巣状分節性糸球体硬化症 30 検体・微小変化群 8 検体・IgA 腎症 11 検体（活動性 IgA 腎症 5 検体を含む）・膜性腎症 3 検体・ループス腎炎 1 検体・糖尿病性腎症 3 検体・抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連腎炎 5 検体・健常対照者 10 検体であった。

以上の検体の血清 suPAR 濃度を測定し疾患別に集計した結果、巣状分節性糸球体硬化症：3243.3±1090 pg/mL・微小変化群：3006.6±2267 pg/mL・IgA 腎症：2265.4±889.7 pg/mL・活動性 IgA 腎症：2366.3±818.1 pg/mL・膜性腎症：3025.8±221.0 pg/mL・糖尿病性腎症：5409.2±1691 pg/mL・ANCA 関連腎炎：6791.3±1513 pg/mL・健常対照者：1796.3±498.2 pg/mL であった。巣状分節性糸球体硬化症患者血清は健常対照者血清に比べて有意に血清 suPAR 濃度が高値を示したが、他のネフローゼ・腎炎症候群の原疾患と比較すると有意差は得られていない。また、コロンビア分類に基づく組織亜型に関する情報が得られている検体では組織亜型間で比較に行っているが、有意差は得られていない。一方、対照として比較した ANCA 関連腎炎 5 例では他疾患群と比較して血清 suPAR 濃度が有意に高値を示していた。また健常対照者を除く全疾患群での検討では、血清 suPAR 濃度と尿蛋白量あるいは推算糸球体濾過量とは有意な相関関係を認めなかった。

### D. 考察

現時点において、巣状分節性糸球体硬化症患者血清は計 30 検体の測定が終了しているものの、他疾患は一疾患あたりの検体数がまだ少なく、統計学的有意差が得られにくいものと考えられる。

現時点までの結果からは、一次性ネフローゼ症候群の原疾患としては巣状分節性糸球体硬化症患者血清における suPAR 濃度は高値を示す傾向はあったものの、有意差は得られていない。巣状分節性糸球体硬化症患者血清のデータの分布として約 3000 pg/mL を境界として高値群と低値群に分かれる傾向があり、この傾向は欧米における発表データにも認められる傾向である。この差が何を反映しているものであるか、臨床・病理データを基に解析中である。一方、臨床上巣状分節性糸球体硬化症との鑑別がしばしば問題となる微小変化群では 3000 pg/mL を超える症例はごくわずかであることから、鑑別に用いることができる可能性について更に検討を加えていく必要がある。ANCA 関連腎炎患者血清では有意に高値を示しているが、これは炎症の活動性が高い疾患における非特異的な上昇である可能性が示唆される。来年度へ向けて、研究参加施設・検体数を増加させ、診断マーカーとしての有用性について更なる検討を続ける予定である。

### E. 結論

現時点では測定検体数がまだ不足しているが、巣状分節性糸球体硬化症患者血清における suPAR 濃度は健常対照群に比べて有意に高く、他の一次性ネフローゼ・腎炎症候群の原疾患と比較しても高値をとる傾向にある。組織亜型や臨床データとの関連を更に検討し、診断マーカーとしての有用性や病態因子としての可能性についてより多数の検体を用いて更なる検討が必要である。

### G. 研究発表

#### 1. 論文発表

1. 武曾 恵理, 齊藤 喬雄: 難治性ネフローゼ症候群に対する LDL アフェレシスの前向きコホート研究 (POLARIS 調査) 報告 中長期予後の解析 Therapeutic Research 33(8): 1220-1222. 2012
2. 武曾 恵理, 齊藤 喬雄: 難治性ネフローゼ症候群に対する LDL アフェレシスの前向きコホート研究 (POLARIS 調査) 報告 FSGS 症例とそれ以外の症例の効果および背景の比較 Therapeutic Research 33(2): 211-213. 2012
3. Muso E, Endo T, Itabashi M, Kakita H, Iwasaki Y, Tateishi Y, Komiya T, Ihara T, Yumura W, Sugiyama T, Joh K, Suzuki K. Evaluation of the newly proposed simplified histological classification in Japanese cohorts of myeloperoxidase-anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in comparison with

other Asian and European cohorts. Clin Exp Nephrol. In press

4. Miyata H, Uno K, Ono T, Yashiro M, Fukatsu A, Kita T, Kimura T, Muso E: Low Density Lipoprotein Apheresis Ameliorates Interferon- $\gamma$  Production in Patients With Nephrotic Syndrome. Ther Apher Dial. 2012 Apr;16(2):189-194

## 2. 学会発表

1. 膜性腎症の抗原 PLA2R の測定方法の開発：秋山真一. 第 55 回日本腎臓学会学術総会（横浜）、2012 年 6 月 1 日
2. JNSCS の結果から見える一次性ネフローゼ症候群の疫学：山本陵平, 今井圓裕、横山仁、松尾清一. 第 55 回日本腎臓学会学術総会（横浜）、2012 年 6 月 1 日
3. 抗 PLA2R 自己抗体測定用 E L I S A の開発：秋山真一、丸山彰一、松尾清一、今井圓裕. 第 55 回日本腎臓学会学術総会（横浜）、2012 年 6 月 1 日
4. 塚本達雄、三宅崇文、垣田浩子、池田昌樹、辻 宜樹、遠藤知美、古宮俊幸、米本智美、深澤 晃、武曾惠理：透析患者の末梢動脈疾患治療における LDL アフェレシスの位置づけ 第 24 回腎と脂質研究会. 2012. 3. 3（京都）
5. 武曾惠理：難治性ネフローゼ症候群に対する LDL-アフェレシスの前向きコホート研究（POLARIS 調査）報告—中長期 予後の解析— 第 24 回腎と脂質研究会 2012. 3. 3（京都）

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業））  
分担研究報告書

多発性嚢胞腎分科会

責任研究分担者

堀江重郎 帝京大学・泌尿器科・教授／順天堂大学・泌尿器科・教授

研究分担者

奴田原紀久雄 杏林大学・泌尿器科・教授

研究協力者

石村栄治 大阪市立大学・腎臓内科・准教授  
鶴屋和彦 九州大学・腎臓内科・准教授  
長船健二 京都大学 iPS 細胞研究所増殖分化機構研究部門・准教授  
香村衡一 千葉東病院・泌尿器科・医長  
武藤智 帝京大学・泌尿器科・准教授  
土谷健 東京女子医科大学・腎臓内科・教授  
望月俊雄 東京女子医科大学・腎臓内科・講師  
花岡一成 東京慈恵会医科大学・腎臓・高血圧内科・講師  
乳原善文 虎の門病院分院・腎臓内科・部長  
安藤昌彦 名古屋大学医学部付属病院 先端医療・臨床研究支援センター・准教授  
成田一衛 新潟大学・第2内科・教授  
西尾妙織 北海道大学・第2内科・助教  
の村信介 三重大学・腎臓内科・准教授  
中西浩一 和歌山県立医科大学・小児科・講師

研究要旨

【背景・目的】

1. 常染色体優性多発嚢胞腎 (ADPKD) 患者を対象とした肝嚢胞に関する QOL 調査：巨大肝嚢胞を有する ADPKD 症例における QOL 低下の実態把握
2. ADPKD に対する動脈塞栓療法 (TAE) 臨床試験：TAE のエビデンスに基づく治療方法の確立およびガイドラインへの収載
3. 「多発性嚢胞腎患者全国登録による多施設共同研究」(J-PKD レジストリー研究)：PKD 症例の治療実態、腎機能・容積、合併症の前向き調査
4. ADPKD における基礎研究
  - ① ADPKD に対するレニン阻害薬 (DRI) の効果の検討：ADPKD モデル動物に対する DRI の腎嚢胞抑制効果の検討
  - ② ADPKD 患者由来 iPS 細胞の血管分化系を用いた新規バイオマーカーの同定

【方法】

1. FACT-Hep 及び FANLTC 調査票を用いた多施設共同前向き観察研究。肝嚢胞の肝全体に対する占拠率 25% 以上の群の QOL 低下を 25% 以下の群と 3 年間比較する。
2. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会にてシンポジウム「多発性嚢胞腎における腎動脈・肝動脈塞栓療法の有用性と今後の展望」を開催し問題点を確認した。
3. 多施設共同中央登録による前方向コホート研究であり 2.5 年の登録期間が 2012 年 6 月に終了した。
4. ADPKD における基礎研究
  - ① *Pkd1* コンディショナルノックアウトマウスに対して ARB、CCB、DRI を投与し、血圧、腎嚢胞、腎機能、肝嚢胞に対する効果を比較する。
  - ② 脳動脈瘤合併 ADPKD 症例の血管内皮で特異的に発現する分子を同定する

【結果】

1. 対象群 44 例、コントロール群 20 例の登録が終了した。登録時 QOL 調査では FACT-Hep 32.4±5.8 点

(0-72 点)、FANLTC 71.8±12.5 点 (0-104 点) であった。

2. 腎・肝ともに TAE を行う施設および患者数は増加傾向にあるが、その対象、手技や方法、塞栓物質、合併症の管理などは統一されていない。
3. 271 例が登録された。男性 95 例、女性 176 例。年齢中央値 52 歳。合併症では肝嚢胞は 230 例 (91.3%)、脳動脈瘤 47 例 (19.1%) に認められた。降圧療法は 216 例 (80.6%) に対して行われ、RAA 系阻害薬は 205 例 (94.9%) に投与されていた。平均血圧は 126.1/77.4mmHg。検査所見では、平均クレアチニン値 1.70mg/dl、平均 eGFR 値 49.3ml/min/1.73 m<sup>2</sup> であった。
4. ADPKD における基礎研究
  - ① 肝嚢胞に対しては降圧剤によって差を認めなかったが、腎嚢胞は DRI のみがコントロールと比べて有意に縮小し、腎機能も DRI のみが有意に改善した。
  - ② ADPKD 患者皮膚から iPS 細胞が樹立可能であった。脳動脈瘤合併 ADPKD 症例の血管内皮で特異的に発現する分子を同定した。

#### 【考察】

1. 対象群では目標症例数 40 例の登録が終了した。肝嚢胞による QOL 低下について明らかにしていく。
2. 今後、新規塞栓物質も含めて、肝・腎それぞれの TAE に対して標準化が必要である。
3. 今回のコホート研究では、CKD stage III の症例が最も多かった。今後、これらの症例を追跡することで、PKD 患者の治療実態、腎機能の推移、合併症の発症など病態を明らかにしていく。
4. モデル動物で DRI による腎機能保護作用が示されたことから、ヒト ADPKD に対する効果を検討していく。

#### A. 研究目的

1. 常染色体優性多嚢胞腎 (ADPKD) 患者を対象とした肝嚢胞に関する QOL 調査：巨大肝嚢胞を有する ADPKD 症例における QOL 低下の実態を把握することを目的とする。
2. ADPKD に対する動脈塞栓療法の臨床試験（有効性と安全性の検証）：ADPKD における TAE のエビデンスに基づく治療方法の確立およびガイドラインへの収載を目的とする。
3. 「多嚢性嚢胞腎患者全国登録による多施設共同研究」（J-PKD レジストリー研究）：PKD 症例の治療実態、腎機能・容積、合併症を前向きに検討する。
4. ADPKD における基礎研究
  - ① ADPKD に対するレニン阻害薬 (DRI) の効果の検討：ADPKD モデル動物に対する DRI の腎嚢胞抑制効果を検討する。また ADPKD に対する DRI の降圧効果、腎機能保護作用、腎容積に対する影響を検討する。
  - ② 脳動脈瘤合併 ADPKD 症例の血管内皮で特異的に発現する分子を同定する

#### B. 研究方法

1. 適格基準：CT もしくは MRI で、肝嚢胞が肝実質の 25%以上であると主治医が判断した ADPKD 症例。  
除外基準：肝切除あるいは肝移植手術施行例、20 歳未満。  
多施設共同前向き観察研究（現在 6 施設、登録数 64 例）（疫学分科会との共同研究）
  - ・ マッチング方法 (frequency matching、年齢・性別・CKD ステージを考慮)

- ・ QOL 調査内容（調査票、調査時期、郵送方式の採用）
- ・ エンドポイントの定義（総合点数、各下位尺度点数）
- ・ サンプルサイズ計算（肝嚢胞占拠割合による QOL スコア差の効果量を仮定）
- ・ 共変量の選定（QOL 評価時点、評価時点と直近の肝嚢胞占拠割合の交互作用、性別、年齢、CKD ステージ）
- ・ 統計解析計画作成（線形混合モデル）
- ・ UMIN 臨床試験登録（受付番号 R000009467、試験 IDUMIN000008039）  
FACT-Hep 及び FANLTC 調査票を用いた多施設共同前向き観察研究。肝嚢胞の肝全体に対する占拠率 25%以上の群の QOL 低下を 25%以下の群と 3 年間比較する。  
2013 年 6 月 30 日：登録期間終了  
2016 年 6 月 30 日：追跡期間終了
- ・ 目標症例数  
対象群（肝嚢胞占拠割合 25%以上）40 例  
コントロール群（肝嚢胞占拠割合<25%）40 例

2. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会にてシンポジウム「多嚢性嚢胞腎における腎動脈・肝動脈塞栓療法の有用性と今後の展望」を開催し問題点を確認した。
3. 多施設共同中央登録による前向きコホート研究であり 2.5 年の登録期間が 2012 年 6 月に終了した。今後追跡期間は最終登録後 5 年、2017/6/30 までである。
4. ①*Pkd1* コンディショナルノックアウトマウス

に対して ARB、CCB、DRI を投与し、血圧、腎嚢胞、腎機能、肝嚢胞に対する効果を比較する。

② ADPKD 患者皮膚から iPS 細胞が樹立可能であった。脳動脈瘤合併 ADPKD 症例の血管内皮で特異的に発現する分子を同定した。

### C. 研究結果

1. 対象群 44 例、コントロール群 20 例の登録が終了した。登録時 QOL 調査では FACT-Hep 32.4±5.8 点 (0-72 点)、FANLTC 71.8±12.5 点 (0-104 点) であった。年齢層 (P=0.1643)、性別 (P=0.2171)、CKD ステージ (P=0.9698) による FANLTC の有意な変動を認めなかった。年齢層 (P=0.5109)、性別 (P=0.8633)、CKD ステージ (P=0.8516) による FACT-Hep の有意な変動を認めなかった。しかし肝嚢胞割合の増大により FANLTC (P=0.0168)、FACT-Hep (p=0.0029) は有意に低下した。
2. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会 シンポジウム「多発性嚢胞腎における腎動脈・肝動脈塞栓療法 (TAE) の有用性と今後の展望」
  - ① マイクロコイルを用いた腎 TAE (虎の門病院腎センター) 末梢枝をコイルで置き換えるように塞栓することが効果的であり、近位部を残すことが、2 回目の手技をも考慮し必要である。処置前に腎容積と比べて 3 か月後 70.3±13.8、6 か月後 59.4±14.0、1 年後 53.9±13.1 (P<0.0001) と有意に縮小した。また腹囲も処置前と比べて 3 か月後 -10.5±4.5、6 か月後 -11.8±5.5、1 年後 -12.6±4.9 (P<0.0001) と有意に縮小した。加えて TAE 後に血清アルブミン値が処置前 2.94±0.36、3 か月後 3.17±0.32、6 か月後 3.30±0.32、1 年後 3.37±0.28 (P<0.0001) と有意に増加したことから栄養状態の改善にもなると考えられた。
  - ② エタノールを用いた腎 TAE (北海道大学病院放射線科) 治療前を 100 とすると、3 か月後 60.9、6 か月後 47.3、1 年後 39.8、2 年後 29.2 と縮小した。
  - ③ 液状塞栓物質 (NBCA) を用いた腎 TAE (京都第一赤 放射線科) TAE 前 10,601ml が 1 年後 6,489ml、4,157ml が 2,020ml と縮小した。
  - ④ マイクロコイルを用いた肝 TAE (虎の門病院腎センター)
  - ⑤ 血管塞栓ビーズを用いた肝 TAE (川崎医科大学放射線科)
3. 271 例が登録された。男性 95 例 (35%)、女性 176 例 (65%)。年齢中央値 52 歳 (範囲; 19-88 歳)。家族歴あり 191 例 (70%)、なし 21 例 (8%)、不明 59 例 (22%)。合併症では肝嚢胞は 230 例 (85%)、脳動脈瘤 47 例 (17%)、心臓弁膜症 63 例 (23%) を認めた。降圧療法は 216 例 (80%) に対して行われ、RAA 系阻害薬は 205 例 (76%)

に投与されていた。収縮期血圧 126.1±14.1 mmHg、拡張期血圧、77.4±10.9 mmHg。検査所見では、クレアチニン値 1.7±1.6 mg/dl、eGFR 値 49.3±27.4 ml/min/1.73 m<sup>2</sup> であった。

4. ① 肝嚢胞に対しては降圧剤によって差を認めなかったが、腎嚢胞は DRI のみがコントロールと比べて有意に縮小し、腎機能も DRI のみが有意に改善した。

### D. 考察

1. 対象群では目標症例数 40 例の登録が終了した。FANLTC、FACT-Hep の 2 つの QOL 指標において、登録時の集計では肝嚢胞の占拠率が高いと QOL が低いことが明らかになった。今後縦断的な変化を観察していく予定である
2. 腎・肝ともに TAE を行う施設および患者数は増加傾向にあるが、その対象、手技や方法、塞栓物質、合併症の管理などは統一されていない。放射線科 (IVR: Interventional Radiology 学会) と泌尿器科、腎臓内科との連携が重要である。今後の問題点として、①施設間で大きく異なる手技・資材 (塞栓物質) の標準化、今後、新規塞栓物質も含めて、肝・腎それぞれの TAE に対して標準化が必要である。②現在のコイル、エタノールなどに加えて、新しい塞栓物質 (接着剤など) の適応も検討する、③データベースの共有、④保険適応の地域差の解消
3. 今回のコホート研究では、CKD stage III の症例が最も多かった。今後、これらの症例を追跡することで、PKD 患者の治療実態、腎機能の推移、合併症の発症など病態を明らかにしていく。
4. モデル動物で DRI による腎機能保護作用が示されたことから、ヒト ADPKD に対する効果を検討していく。

### E. 結論

1. ADPKD による肝嚢胞患者を対象とした QOL 調査から肝嚢胞が大きいと QOL が悪化することが明確に示された。
2. ADPKD に対する TAE の有効性と安全性の検証から、治療の標準化へ向け、多領域の治療医が関与することが重要と考えられた。
3. J-PKD コホート研究を通して PKD の自然史を解明していく
4. ADPKD に関する基礎研究ではトランスレーショナル研究も活発化していく

### G. 研究発表

1. 論文発表
  1. Cure of ADPKD by selection for spontaneous genetic repair events in Pkd1-mutated iPS cells. Cheng LT, Nagata S, Hirano K, Yamaguchi S, Horie S, Ainscough J, Tada T. PLoS One. 2012; 7: e32018
  2. Mae SI, Shono A, Shiota F, Yasuno T,

- Kajiwara M, Gotoda-Nishimura N, Arai S, Sato-Otubo A, Toyoda T, Takahashi K, Nakayama N, Cowan CA, Aoi T, Ogawa S, McMahon AP, Yamanaka S, Osafune K. Monitoring and robust induction of nephrogenic intermediate mesoderm from human pluripotent stem cells. *Nature Communications*. 2013; 4: 1367.
3. Osafune K. iPS cell technology-based research for the treatment of diabetic nephropathy. *Seminars in Nephrology* 2012; 32: 479–85.
  4. Nakazawa D, Tomaru U, Suzuki A, Masuda S, Hasegawa R, Kobayashi T, Nishio S, Kasahara M, Ishizu A: Abnormal conformation and impaired degradation of neutrophil extracellular traps induced by propylthiouracil: Implication of disordered neutrophil extracellular traps in a rat model of myeloperoxidase antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *Arthritis Rheum*. 2012; 64: 3779–87.
  5. Higashihara E, Horie S, Muto S, Mochizuki T, Nishio S, Nutahara K. Renal disease progression in autosomal dominant polycystic kidney disease. *Clin Exp Nephrol*. 2012; 16: 622–8.
  6. Ebata S, Hashimoto S, Suzuki A, Ito M, Maoka T, Ishikawa Y, Mochizuki T, Koike, T: A case of adefovir-induced membranous nephropathy related to hepatitis B caused by lamivudine-resistant virus after liver transplant due to Byler's disease. *Clin Exp Nephrol*. 2012; 16: 805–10.
  7. Nakanishi K, Iijima K, Ishikura K, Hataya H, Nakazato H, Sasaki S, Honda M, Yoshikawa N, for Japanese Study Group of Renal Disease in Children. Two-year outcome of the ISKDC regimen and frequent-relapsing risk in children with idiopathic nephrotic syndrome. *Clin J Am Soc Nephrol* 2013 Jan 31. [Epub ahead of print] #63
  8. Hama T, Nakanishi K, Mukaiyama H, Shima Y, Togawa H, Sako M, Nozu K, Iijima K, Yoshikawa N. Endoplasmic reticulum stress with low-dose cyclosporine in frequently relapsing nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2013 Jan 15. [Epub ahead of print] #61
  9. Hamasaki Y, Yoshikawa N, Nakazato H, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ishikura K, Ito S, Kaneko T, Honda M; for Japanese Study Group of Renal Disease in Children. Prospective 5-year follow-up of cyclosporine treatment in children with steroid-resistant nephrosis. *Pediatr Nephrol*. 2013 Jan 13. [Epub ahead of print] #60
  10. Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Sako M, Kaito H, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N. Spontaneous remission in children with IgA nephropathy. *Pediatr Nephrol*. 2012; 28: 71–6.
  11. Ishikura K, Yoshikawa N, Nakazato H, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Ito S, Yata N, Ando T, Honda M; for the Japanese Study Group of Renal Disease in Children. Two-Year Follow-Up of a Prospective Clinical Trial of Cyclosporine for Frequently Relapsing Nephrotic Syndrome in Children. *Clin J Am Soc Nephrol*. 2012; 7: 1576–83.
  12. Iijima K, Someya T, Ito S, Nozu K, Nakanishi K, Matsuoka K, Ohashi H, Nagata M, Kamei K, Sasaki S. Focal Segmental Glomerulosclerosis in Patients With Complete Deletion of One WT1 Allele. *Pediatrics*. 2012; 129: e1621–5.
  13. Konno K, Nakanishi K, Hishikawa S, Tanaka H, Yoshikawa N, Yasuda Y, Kobayashi E, Lefor A. Cryo-preserved porcine kidneys are feasible for teaching and training renal biopsy: “the bento kidney” Transplantation Research 2012;1:5.
  14. Hashimura Y, Kaito H, Nozu K, Shima Y, Nakanishi K, Iijima K, Yoshikawa N. Two cases of atypical membranoproliferative glomerulonephritis showing opposite clinical course. *CEN Case Rep* 2012; 1: 34–8
  15. Ohtsubo H, Morisada N, Kaito H, Nagatani K, Nakanishi K, Iijima K. Alport-like glomerular basement membrane changes with renal-coloboma syndrome. *Pediatr Nephrol*. 2012; 27: 1189–92
  16. Hama T, Nakanishi K, Shima Y, Mukaiyama H, Togawa H, Tanaka R, Hamahira K, Kaito H, Iijima K, Yoshikawa N. Renal biopsy criterion in children with asymptomatic constant isolated proteinuria. *Nephrol Dial Transplant*. 2012; 27: 3186–90.

17. Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Hashimura Y, Kaito H, Sako M, Iijima K, Yoshikawa N. Validity of the Oxford classification of IgA nephropathy in children. *Pediatr Nephrol.* 2012; 27: 783–92.
18. Fukumoto S, Ishimura E, Motoyama K, Morioka T, Kimoto E, Wakikawa K, Shoji S, Koyama H, Shoji T, Emoto M, Nishizawa Y and Inaba M: Antialbuminuric advantage of cilnidipine compared with L-type calcium channel blockers in type 2 diabetic patients with normoalbuminuria and microalbuminuria. *Diabetes Res Clin Pract.* 2012; 97: 91–8.
19. Inaba M, Maekawa K, Okuno S, Imanishi Y, Hayashino Y, Emoto M, Shoji T, Ishimura E, Yamakawa T and Nishizawa Y: Impact of atherosclerosis on the relationship of glycemic control and mortality in diabetic patients on hemodialysis. *Clin Nephrol.* 2012; 78: 273–80.
20. Kakiya R, Shoji T, Hayashi T, Tatsumi-Shimomura N, Tsujimoto Y, Tabata T, Shima H, Mori K, Fukumoto S, Tahara H, Koyama H, Emoto M, Ishimura E, Nishizawa Y and Inaba M: Decreased serum adrenal androgen dehydroepiandrosterone sulfate and mortality in hemodialysis patients. *Nephrol Dial Transplant.* 2012; 27: 3915–22.
21. Kobayashi I, Shidara K, Okuno S, Yamada S, Imanishi Y, Mori K, Ishimura E, Shoji S, Yamakawa T and Inaba M: Higher serum bone alkaline phosphatase as a predictor of mortality in male hemodialysis patients. *Life Sci.* 2012; 90: 212–8.
22. Naganuma T, Takemoto Y, Shoji T, Shima H, Ishimura E, Okamura M and Nakatani T: Factors associated with cerebral white matter hyperintensities in haemodialysis patients. *Nephrology (Carlton).* 2012; 17: 561–8.
23. Nakatani S, Wei M, Ishimura E, Kakehashi A, Mori K, Nishizawa Y, Inaba M and Wanibuchi H: Proteome analysis of laser microdissected glomeruli from formalin-fixed paraffin-embedded kidneys of autopsies of diabetic patients: nephronectin is associated with the development of diabetic glomerulosclerosis. *Nephrol Dial Transplant.* 2012; 27: 1889–97.
24. Ochi A, Ishimura E, Tsujimoto Y, Kakiya R, Tabata T, Mori K, Tahara H, Shoji T, Yasuda H, Nishizawa Y and Inaba M: Elemental concentrations in scalp hair, nutritional status and health-related quality of life in hemodialysis patients. *Ther Apher Dial.* 2012; 16: 127–33.
25. Ohno Y, Ishimura E, Naganuma T, Kondo K, Fukushima W, Mui K, Inaba M and Hirota Y: Prevalence of and Factors Associated with Chronic Kidney Disease (CKD) in Japanese Subjects without Notable Chronic Diseases, Undergoing an Annual Health Checkup. *Kidney Blood Press Res.* 2012; 36: 139–48.
26. Okuno S, Ishimura E, Norimine K, Tsuboniwa N, Kagitani S, Yamakawa K, Yamakawa T, Sato KK, Hayashi T, Shoji S, Nishizawa Y and Inaba M: Serum adiponectin and bone mineral density in male hemodialysis patients. *Osteoporos Int.* 2012; 23: 2027–35.
27. Okuno S, Ishimura E, Tsuboniwa N, Norimine K, Yamakawa K, Yamakawa T, Shoji S, Mori K, Nishizawa Y and Inaba M: Significant inverse relationship between serum undercarboxylated osteocalcin and glycemic control in maintenance hemodialysis patients. *Osteoporos Int.* 2013; 24: 605–12.
28. Yoda M, Inaba M, Okuno S, Yoda K, Yamada S, Imanishi Y, Mori K, Shoji T, Ishimura E, Yamakawa T and Shoji S: Poor muscle quality as a predictor of high mortality independent of diabetes in hemodialysis patients. *Biomed Pharmacother.* 2012; 66: 266–70.
29. Tsuchiya K, Nitta K. Hepcidin is a potential regulator of iron status in chronic kidney disease. *Ther Apher Dial.* 2012 in press.
30. Morito T, Tsuchiya K, Nitta K, Ando M. New-onset microalbuminuria following allogeneic myeloablative SCT is a sign of near-term decrease in renal function. *Bone Marrow Transplant* in press.
31. Mochizuki T, Tsuchiya K, Nitta K. Autosomal dominant polycystic kidney disease: recent advances in pathogenesis and potential therapies. *Clin Exp Nephrol* 2012 in press.

32. Kohei J, Ishida H, Tanabe K, Tsuchiya K, Nitta K. Neutrophil gelatinase-associated lipocalin is a sensitive biomarker for the early diagnosis of acute rejection after living-donor kidney transplantation. *Int Urol Nephrol* 2012 in press.
33. Okano K, Hibi A, Yiyaoka T, Inoue T, Sugimoto H, Tsuchiya K, Akiba T, Nitta K. Inhibitory effects of the transcription factor Ets-1 on the expression of type I collagen in TGF- $\beta$ 1-stimulated renal epithelial cells. *Mol Cell Biochem* in press 2012.
34. Eguchi A, Mochizuki T, Tsukada M, Kataoka K, Hamaguchi Y, Oguni S, Nitta K, Tsuchiya K. Serum hepcidin levels and reticulocyte hemoglobin concentrations as indicators of the iron status of peritoneal dialysis patients. *Int J Nephrol* 2012 doi:10.1155/2012/239476.
35. Sugiura H, Yoshida T, Shiohira S, Kohei J, Mitobe M, Kurosu H, Kuro-o M, Nitta K, Tsuchiya K. Reduced Klotho expression level in kidney aggravates renal interstitial fibrosis. *Am J Physiol Renal Physiol*. 2012; 302: F1252-64.
36. Saito T, Mochizuki T, Uchida K, Tsuchiya K, Nitta K. Metabolic syndrome and risk of progression of chronic kidney disease: a single-center cohort study in Japan. *Heart Vessels* 2012 Apr 21. [Epub ahead of print]
37. Ando M, Tsuchiya K, Nitta K. REVIEW ARTICLE How to manage HIV-infected patients with chronic kidney disease in the HAART era. *Clin Exp Nephrol* 2012 DOI 10.1007/s10157-012-0585-7.
38. Echida Y, Mochizuki T, Uchida K, Tsuchiya K, Nitta K. Risk factors for vitamin D deficiency in patients with chronic kidney disease. *Intern Med*. 2012; 51: 845-50.
39. Nagasawa M, Ubara Y, Suwabe T, Yamanouchi M, Hayami N, Sumida K, Hattori Y, Tsukamoto M, Hiramatsu E, Hasegawa E, Hoshino J, Sawa N, Marui Y, Nakamura M, Tomikawa S, Takaichi K. Parathyroid hemorrhage occurring after administration of cinacalcet in a patient with secondary hyperparathyroidism. *Intern Med*. 2012; 51: 3401-4.
40. Sawa N, Ubara Y, Sumida K, Hiramatsu R, Hasegawa E, Yamanouchi M, Hoshino J, Suwabe T, Uchida N, Wake A, Taniguchi S, Takaichi K. Direct hemoperfusion with a polymyxin B column versus vasopressin for gram negative septic shock: a matched cohort study of the effect on survival. *Clin Nephrol*. 2012 Dec 20. [Epub ahead of print]
41. Hoshino J, Molnar MZ, Yamagata K, Ubara Y, Takaichi K, Kovcsdy CP, Kalantar-Zadeh K. Developing an HbA1c-Based Equation to Estimate Blood Glucose in Maintenance Hemodialysis Patients. *Diabetes Care*. 2012 Dec 13. [Epub ahead of print]
42. Hiramatsu R, Ubara Y, Suwabe T, Sumida K, Hayami N, Yamanouchi M, Mise K, Hasegawa E, Hoshino J, Sawa N, Takaichi K. Osteomalacia and insufficiency fracture in a hemodialysis patient with autosomal dominant polycystic kidney disease. *Intern Med*. 2012; 51: 3277-80.
43. Mise K, Ubara Y, Sumida K, Hiramatsu R, Hasegawa E, Yamanouchi M, Hayami N, Suwabe T, Hoshino J, Sawa N, Hashimoto M, Fujii T, Sasano H, Takaichi K. Cushing's Syndrome after Hemodialysis for 21 Years. *J Clin Endocrinol Metab*. 2012 Nov 21. [Epub ahead of print]
44. Hiramatsu R, Ubara Y, Hayami N, Yamanouchi M, Hasegawa E, Sumida K, Suwabe T, Hoshino J, Sawa N, Amizuka N, Takaichi K. Occurrence of new bone-like tissue formation in uremic tumoral calcinosis. *Bone*. 2013; 52: 684-8.
45. Kitajima T, Ubara Y, Marui Y. Sarcomatoid carcinoma in the native kidney of a renal transplant recipient. *Ther Apher Dial*. 2012; 16: 376-8.
46. Sumida K, Ubara Y, Suwabe T, Hayami N, Hiramatsu R, Hasegawa E, Yamanouchi M, Hoshino J, Sawa N, Takaichi K. Adalimumab treatment in patients of rheumatoid arthritis with renal insufficiency. *Arthritis Care Res (Hoboken)*. 2012 Jul 17.
47. Sumida K, Ubara Y, Takaichi K, Wake A. Primary effusion lymphoma-like lymphoma with polycystic kidney disease. *BMJ Case Rep*. 2012; 13.
48. Hirohama D, Hoshino J, Sumida K, Hasegawa E, Hiramatsu R, Yamanouchi M, Hayami N, Suwabe T, Sawa N, Takemoto F, Ubara Y, Hara S, Ohashi K, Takaichi K. Churg-strauss syndrome presenting with acute renal

- insufficiency accompanied by eosinophilic tubulointerstitial nephritis. *Intern Med.* 2012;51: 1555–60.
49. Suwabe T, Ubara Y, Sumida K, Hayami N, Hiramatsu R, Yamanouchi M, Hasegawa E, Hoshino J, Sawa N, Saitoh S, Okuda I, Takaichi K. Clinical features of cyst infection and hemorrhage in ADPKD: new diagnostic criteria. *Clin Exp Nephrol.* 2012
  50. Ayuzawa N, Ubara Y, Keiichi S, Masayuki Y, Hasegawa E, Hiramatsu E, Hayami N, Suwabe T, Hoshino J, Sawa N, Kawabata M, Ohashi K, Takaichi K. Churg–Strauss Syndrome with a Clinical Condition Similar to IgG4-Related Kidney Disease: A Case Report. *Intern Med.* 2012 ;51: 1233–8.
  51. Sumida K, Ubara Y, Nomura K, Hoshino J, Suwabe T, Hiramatsu R, Hasegawa E, Hayami N, Yamanouchi M, Sawa N, Takemoto F, Takaichi K, Ohashi K. ANCA-associated crescentic glomerulonephritis with immune complex deposits. *Clin Nephrol.* 2012; 77: 454–60.
  52. Nozaki K, Ubara Y, Marui Y, Tomikawa S. Mucinous cystadenoma of the appendix mimicking polycystic kidney disease. *Int Braz J Urol.* 2012; 38: 284–6.
  53. Nonaka K, Ubara Y, Suwabe T, Takaichi K, Oohashi K. Intractable membranous lupus nephritis showing selective improvement of subepithelial deposits with tacrolimus therapy: a case report. *Clin Nephrol.* 2012 Apr 27
  54. Yamakoshi S, Ubara Y, Suwabe T, Hiramatsu R, Yamanouchi M, Hayami N, Sumida K, Hasegawa E, Hoshino J, Sawa N, Takaichi K, Kawabata M. Transcatheter renal artery embolization improves lung function in patients with autosomal dominant polycystic kidney disease on hemodialysis. *Clin Exp Nephrol.* 2012 Apr 18.
  55. Yamanouchi M, Ubara Y, Takaichi K. Emphysematous cyst infection in autosomal dominant polycystic kidney disease. *Clin Exp Nephrol.* 2012 Mar 24.
  56. Hattori Y, Ubara Y, Sumida K, Hiramatsu R, Hasegawa E, Yamanouchi M, Hayami N, Suwabe T, Hoshino J, Sawa N, Oohashi K, Takaichi K. Tocilizumab improves cardiac disease in a hemodialysis patient with AA amyloidosis secondary to rheumatoid arthritis. *Amyloid.* 2012 Jan 20.
  57. Hirano K, Kawamura T, Tsuboi N, Okonogi H, Miyazaki Y, Ikeda M, Matsushima M, Hanaoka K, Ogura M, Utsunomiya Y, Hosoya T. The predictive value of attenuated proteinuria at 1 year after steroid therapy for renal survival in patients with IgA nephropathy. *Clin. Exp. Nephrol.* 2012. DOI: 10.1007/s10157-012-0744-x.
  58. Udagawa T, Hanaoka K, Kawamura M, Hosoya T. Characteristics of spontaneous calcium oscillations in renal tubular epithelial cells. *Clin. Exp. Nephrol.* 2012; 16: 389–98.
  59. Hosoya T, Kuriyama S, Ohno I, Kawamura T, Ogura M, Ikeda M, Ishikawa M, Hayashi F, Kanai T, Tomonari H, Soejima M, Akaba K, Tokudome G, Endo S, Fukui A, Gomi H, Hamaguchi A, Hanaoka K, Hara Y, Hara Y, Hasegawa T, Hayakawa H, Hikida M, Hirano K, Horiguchi M, Hosoya M, Ichida K, Imai T, Ishii T, Ishikawa H, Kameda C, Kasai T, Kobayashi A, Kobayashi H, Kurashige M, Kusama Y, Maezawa H, Maezawa Y, Maruyama Y, Matsuda H, Matsuo N, Matsuo T, Miura Y, Miyajima M, Miyakawa M, Miyazaki Y, Mizuguchi M, Nakao M, Nokano H, Ohkido I, Ohtsuka Y, Okada K, Okamoto H, Okonogi H, Saikawa H, Saito H, Sekiguchi C, Suetsugu Y, Sugano N, Suzuki T, Suzuki T, Takahashi H, Takahashi Y, Takamizawa S, Takane K, Morita T, Takazoe K, Tanaka H, Tanaka S, Terawaki H, Toyoshima R, Tsuboi N, Udagawa T, Ueda H, Ueda Y, Uetake M, Unemura S, Utsunomiya M, Utsunomiya Y, Yamada T, Yamada Y, Yamaguchi Y, Yamamoto H, Yokoo T, Yokoyama K, Yonezawa H, Yoshida H, Yoshida M, Yoshizawa T. Antihypertensive effect of a fixed-dose combination of losartan / hydrochlorothiazide in patients with uncontrolled hypertension: a multicenter study. *Clin. Exp. Nephrol.* 2012; 16: 269–78.
  60. Yamada S, Tsuruya K, Yoshida H, Taniguchi M, Haruyama N, Tanaka S, Eriguchi M, Nakano T, Kitazono T: The clinical utility of serum tartrate-resistant acid phosphatase 5b in the assessment of bone resorption in patients on peritoneal dialysis. *Clin Endocrinol (Oxf).* 2012 Oct 18. doi: 10.1111/cen.12070. [Epub ahead of print]

61. Yokoyama H, Sugiyama H, Sato H, Taguchi T, Nagata M, Matsuo S, Makino H, Watanabe T, Saito T, Kiyohara Y, Nishi S, Iida H, Morozumi K, Fukatsu A, Sasaki T, Tsuruya K, Kohda Y, Higuchi M, Kiyomoto H, Goto S, Hattori M, Hataya H, Kagami S, Yoshikawa N, Fukasawa Y, Ueda Y, Kitamura H, Shimizu A, Oka K, Nakagawa N, Ito T, Uchida S, Furuichi K, Nakaya I, Umemura S, Hiromura K, Yoshimura M, Hirawa N, Shigematsu T, Fukagawa M, Hiramatsu M, Terada Y, Uemura O, Kawata T, Matsunaga A, Kuroki A, Mori Y, Mitsuiki K, Yoshida H: Renal disease in the elderly and the very elderly Japanese: analysis of the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR). *Clin Exp Nephrol.* 2012; 16: 903-20.
62. Hirakata H, Nitta K, Inaba M, Shoji T, Fujii H, Kobayashi S, Tabei K, Joki N, Hase H, Nishimura M, Ozaki S, Ikari Y, Kumada Y, Tsuruya K, Fujimoto S, Inoue T, Yokoi H, Hirata S, Shimamoto K, Kugiyama K, Akiba T, Iseki K, Tsubakihara Y, Tomo T, Akizawa T: Japanese Society for Dialysis Therapy guidelines for management of cardiovascular diseases in patients on chronic hemodialysis. *Ther Apher Dial.* 2012; 6: 387-435.
63. Tsuruya K, Hirakata H. Japanese Society for Dialysis Therapy guidelines for management of cardiovascular diseases in patients on chronic hemodialysis. *Ther Apher Dial.* 2012; 16: 384-6.
64. Sato Y, Yano Y, Fujimoto S, Konta T, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T. Glycohemoglobin not as predictive as fasting glucose as a measure of prediabetes in predicting proteinuria. *Nephrol Dial Transplant.* 2012; 27: 3862-8.
65. Yano Y, Sato Y, Fujimoto S, Konta T, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T: Association of high pulse pressure with proteinuria in subjects with diabetes, prediabetes, or normal glucose tolerance in a large Japanese general population sample. *Diabetes Care.* 2012; 35: 1310-5.
66. Yamada S, Yoshida H, Taniguchi M, Tanaka S, Eriguchi M, Nakano T, Tsuruya K, Kitazono T: Effectiveness of lanthanum carbonate treatment used in combination with other phosphate binders in peritoneal dialysis patients. *Intern Med.* 2012; 51: 2097-104.
67. Mizumasa T, Hirakata H, Kuroki K, Katafuchi R, Yotsueda H, Mitsuiki K, Nakashima Y, Tsuruya K: Diabetes influences peritoneal morphology and small solute transport status in uremic patients at the initiation of peritoneal dialysis. *Perit Dial Int.* 2012 Sep 1. [Epub ahead of print]
68. Horio M, Yasuda Y, Kaimori J, Ichimaru N, Isaka Y, Takahara S, Nishi S, Uchida K, Takeda A, Hattori R, Kitada H, Tsuruya K, Imai E, Takahashi K, Watanabe T, Matsuo S: Performance of the Japanese GFR equation in potential kidney donors. *Clin Exp Nephrol.* 2012; 16: 415-20.
69. Kondo M, Yamagata K, Hoshi SL, Saito C, Asahi K, Moriyama T, Tsuruya K, Yoshida H, Iseki K, Watanabe T: Cost-effectiveness of chronic kidney disease mass screening test in Japan. *Clin Exp Nephrol.* 2012; 16: 279-91.
70. Wakasugi M, Narita I, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T: Weight gain after 20 years of age is associated with prevalence of chronic kidney disease. *Clin Exp Nephrol.* 2012; 16: 259-68.
71. Iseki K, Asahi K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Konta T, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T: Risk factor profiles based on estimated glomerular filtration rate and dipstick proteinuria among participants of the Specific Health Check and Guidance System in Japan 2008. *Clin Exp Nephrol.* 2012; 16: 244-9.
72. Yamada S, Taniguchi M, Tokumoto M, Toyonaga J, Fujisaki K, Suehiro T, Noguchi H, Iida M, Tsuruya K, Kitazono T: The antioxidant tempol ameliorates arterial medial calcification in uremic rats: important role of oxidative stress in the pathogenesis of vascular calcification in chronic kidney disease. *J Bone Miner Res.* 2012; 27: 474-85.

73. Yano Y, Fujimoto S, Sato Y, Konta T, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T: Association between prehypertension and chronic kidney disease in the Japanese general population. *Kidney Int.* 2012; 81: 293–9.
74. Konta T, Ikeda A, Ichikawa K, Fujimoto S, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Asahi K, Kurahashi I, Ohashi Y, Watanabe T: Blood pressure control in a Japanese population with chronic kidney disease: a baseline survey of a nationwide cohort. *Am J Hypertens.* 2012; 25: 342–7.
75. Maeda A, Takeda K, Tsuruya K, Miura S, Toyonaga J, Nakashita S, Furusho M, Mukai H, Mutou Y, Komaki T, Takae K, Yasunaga C. A case of cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy effective for refractory ascites in spontaneous bacterial peritonitis in a renal transplant patient. *Case Rep Nephrol Urol.* 2012; 2: 138–44.
76. Kimura H, Takeda K, Muto Y, Mukai H, Furusho M, Nakashita S, Miura S, Maeda A, Tsuruya K. Development of Wernicke's encephalopathy during initiation of hemodialysis in an elderly non-alcoholic patient. *Clin Nephrol.* 2012; 78: 487–91.
77. Yamada S, Fuyuno S, Eriguchi M, Tsuruya K, Kitazono T. Remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema syndrome in a chronic hemodialysis patient. *Case Report Med*, Epub 2012 Jan 29
- Meeting, September 6th - 8th 2012, Krakow, Poland
3. Yuko Shima, Koichi Nakanishi, Taketsugu Hama, Hironobu Mukaiyama, Hiroko Togawa, Shingo Ishimori, Hiroshi Kaito, Ryojiro Tanaka, Kazumoto Iijima, Norishige Yoshikawa. Histological Predictors of Treatment Efficacy in Severe Childhood IgA Nephropathy (IgAN): Validation of the Oxford Classification of IgAN (Ox C). 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov. 1–Nov. 4, 2012 in San Diego, USA. *JASN* 23:193A
4. Taketsugu Hama, Koichi Nakanishi, Hironobu Mukaiyama, Hiroko Togawa, Yuko Shima, Masayasu Miyajima, Hisahide Takahashi, Shizuko Nagao, Kazumoto Iijima, Norishige Yoshikawa. Possible Contribution of Fibrocytes to Renal Fibrosis in Cpk Mouse, a Model of ARPKD. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov. 1–Nov. 4, 2012 in San Diego, USA. *JASN* 23:596A
5. Kenji Ishikura, Osamu Uemura, Shuichi Ito, Naohiro Wada, Motoshi Hattori, Yasuo Ohashi, Yuko Hamasaki, Ryojiro Tanaka, Koichi Nakanishi, Tetsuji Kaneko, Masataka Honda: The Pediatric-CKD Study Group in Japan. Progression to End-Stage Kidney Disease in Children with CKD: A Nation-Wide Cohort Study in Japan. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov. 1–Nov. 4, 2012 in San Diego, USA. *JASN* 23:684A
6. Yuya Hashimura, Kandai Nozu, Hiroshi Kaito, Hiromi Ohtsubo, Fusako Hashimoto, Shingo Ishimori, Takeshi Ninchoji, Naoya Morisada, Koichi Nakanishi, Norishige Yoshikawa, Kazumoto Iijima. Genetical and Clinical Aspects of X-Linked Alport Syndrome in Males with Positive Staining of the alpha5(IV) Chain. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov. 1–Nov. 4, 2012 in San Diego, USA. *JASN* 23:33A
7. Takeshi Ninchoji, Hiroshi Kaito, Kandai Nozu, Koichi Nakanishi, Norishige Yoshikawa, Kazumoto Iijima. Clinical Characteristics and Mutational Pattern of Genetically-Proven Gitelman's Syndrome. 45th Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Nov. 1–Nov. 4, 2012

## 2. 学会発表

1. Muto S, Koja M, Nakajima A, Horiuchi A, Inoue M, Nagae M, China T, Koseki T, Tokiwa S, Yoshii T, Saito K, Hisasue S, Isotani S, Yamaguchi R, Ide H, Horie, S. Screening for Bladder Cancer with the Automated Urine Flow Cytometer. The 45th American Society of Nephrology 2012. San Diego, CA. 2012/10/30–11/4.
2. Ishimori S, Kaito H, Ohtsubo H, Hashimoto F, Ninchoji T, Kamioka I, Shima Y, Hamahira K, Nakanishi K, Tanaka R, Yoshikawa N, Iijima K: Clinicopathological characteristics and kidney outcome of childhood-onset lupus nephritis with acute kidney injury: from the multicenter study in Japan. The 45th ESPN Annual

- in San Diego, USA. *JASN* 23:437A
8. Araoka T, Toyohara T, Shiota F, Mae SI, Kurose Y, Osafune K. Development of efficient induction methods from human iPSCs/ESCs into intermediate mesoderm by using low-molecular weight compounds. American Society of Nephrology. Kidney Week 2012, San Diego Convention Center, San Diego, CA. November 3, 2012 (Oral).
  9. Osafune K, Taura D, Shiota F, Sone M, Ameku T, Araoka T, Matsui S, Asaka I, Muso E, Koizumi A, Nakao K, Yamanaka S. Identification of novel biomarkers for vascular complications associated with autosomal dominant polycystic kidney disease using patient-specific iPSCs. American Society of Nephrology. Kidney Week 2012, San Diego Convention Center, San Diego, CA. November 1, 2012.
  10. Osafune K, Taura D, Shiota F, Sone M, Numata T, Toyoda T, Ameku T, Asaka I, Muso E, Mori Y, Koizumi A, Nakao K, Yamanaka S. Identification of novel biomarkers for vascular complications associated with autosomal dominant polycystic kidney disease using patient-specific iPSCs. 10th Annual Meeting, International Society for Stem Cell Research. Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan. June 15, 2012.
  11. Mae SI, Shono A, Shiota F, Yasuno T, Kajiwara M, Gotoda-Nishimura N, Arai S, Sato-Otubo A, Toyoda T, Takahashi K, Nakayama N, Cowan CA, Aoi T, Ogawa S, McMahon AP, Yamanaka S, Osafune K. Monitoring and robust induction of intermediate mesoderm from human iPSCs and ESCs. 10th Annual Meeting, International Society for Stem Cell Research. Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan. June 15, 2012.
  12. Araoka T, Toyohara T, Shiota F, Mae SI, Kurose Y, Ohta A, Yamanaka S, Osafune K. Development of efficient induction methods from human iPSCs/ESCs into intermediate mesoderm by using low-molecular weight compounds. 10th Annual Meeting, International Society for Stem Cell Research. Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan. June 14, 2012.
  13. Kasahara T, Chikamoto H, Okita K, Asaka I, Hattori M, Osafune K. Modeling for autosomal recessive polycystic kidney disease using patient-specific iPSCs. 10th Annual Meeting, International Society for Stem Cell Research. Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan. June 14, 2012.
  14. Ameku T, Araoka T, Taura D, Sone M, Niwa A, Sugamata R, Saito M, Asaka I, Muso E, Fukatsu A, Nakahata T, Nakao K, Suzuki K, Osafune K. Modeling vasculitis syndrome using microscopic polyangiitis (MPA)-specific iPSCs. 10th Annual Meeting, International Society for Stem Cell Research. Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan. June 14, 2012.
  15. Tsuruya K, Yoshida H, Kitazono T: Possible contribution of anemia to brain atrophy in predialysis patients with chronic kidney disease. 45th Annual Meeting and Scientific Exposition of the American Society of Nephrology, San Diego, CA, USA, 2012 November. <poster>
  16. Tsuchiya K, Sugiura H, Nitta K et al. Assessment of anti-fibrotic effects of klotho with a high-throughput cell migration assay using scratch wound healing. The American Society of Nephrology 2012 San Diego
  17. Shiohira S, Tsuchiya K, Nitta K et al. Sphingosine 1-phosphate/sphingosine 1-phosphate receptor 3, potential mediators of renal fibrosis, are assessed by siRNA and scratch assay. The American Society of Nephrology 2012 San Diego
  18. Kohei J, Tsuchiya K, Nitta K et al. NGAL and cystatin C elevations were associated with short term graft function in overweight recipients after kidney transplantation. The American Society of Nephrology 2012 San Diego
  19. Hara M, Ando M, Tsuchiya K, Nitta K et al. Proteinuria with increased serum hepcidin 25 level is a sign of poor prognosis in patients with non-Hodgkin lymphoma. The American Society of Nephrology 2012 San Diego
  20. Yanagisawa N, Ando M, Tsuchiya K, Nitta K et al. Low grade levels of albumin excretion should be considered significant in an HIV infected population. The American Society of Nephrology 2012 San Diego
  21. Morito T, Ando M, Tsuchiya K, Nitta K et al. Potentially existing tubular damage is

- associated with early emergence of acute kidney injury following hematopoietic stem cell transplantation. The American Society of Nephrology 2012 San Diego
22. 井上正浩, 武藤 智, 古謝将之, 堀内 明, 中島晶子, 知名俊幸, 小関達郎, 常盤紫野, 吉井 隆, 斉藤恵介, 久末伸一, 磯谷周治, 山口雷蔵, 井手久満, 堀江重郎. 尿路上皮癌に対するシスプラチンによる抗癌化学療法における腎機能低下の予測因子の検討. 第50回日本癌治療学会学術集会. 東京. 2012/10/25-27.
  23. 武藤 智, 望月俊雄, 奴田原紀久雄, 安藤昌彦, 堀江重郎. ADPKDによる肝嚢胞患者を対象としたQOL調査. 第55回日本腎臓学会学術総会. 横浜. 2012/6/1-3.
  24. 武藤 智, 望月俊雄, 堀江重郎. 常染色体優性多発性嚢胞腎患者向け漫画パンフレットの作成. 第55回日本腎臓学会学術総会. 横浜. 2012/6/1-3.
  25. 井上正浩, 斉藤恵介, 吉井 隆, 磯谷周治, 久末伸一, 井手久満, 武藤 智, 山口雷蔵, 堀江重郎. 分子標的薬投与後に腎機能障害を来した2例. 第42回日本腎臓学会東部学術大会. 新潟. 2012/10/13-14.
  26. 磯谷周治, 吉井 隆, 小関達郎, 井上正浩, 永榮美香, 知名俊幸, 常盤紫野, 斉藤恵介, 久末伸一, 井手久満, 山口雷蔵, 武藤 智, 堀江重郎. 経尿道的尿路結石碎石術(TUL)の腎機能に与える影響の検討. 第42回日本腎臓学会東部学術大会. 新潟. 2012/10/13-14.
  27. 山口雷蔵, 井上正浩, 永榮美香, 知名俊幸, 小関達郎, 常盤紫野, 吉井 隆, 斉藤恵介, 磯谷周治, 久末伸一, 井手久満, 武藤 智, 堀江重郎. 体外循環下に根治的腎摘除術+下大静脈合併切除を施行した右腎癌の1例. 第100回日本泌尿器科学会総会. 横浜. 2012/4/21-24.
  28. 向山弘展, 中西浩一, 浜武継, 戸川寛子, 島友子, 宮嶋正康, 高橋久英, 長尾枝澄香, 飯島一誠, 吉川徳茂. cpkマウスにおける部位特定のリン酸化Smad3の発現第47回日本小児腎臓病学会学術集会 2012年6月29~30日 東京
  29. <特別講演>中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療を目指して~JSKDCの歩み~ 第5回宮城小児腎・泌尿器研究会 2012年5月25日 仙台
  30. <特別講演>中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療を目指して 第52回新潟腎臓懇話会 2012年6月14日 新潟
  31. <教育講演>中西浩一: 織毛病 プロフェッショナル-5 第47回日本小児腎臓病学会学術集会 2012年6月29~30日 東京
  32. <講演>中西浩一: 日本医学会「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」について 学会主導企画2 第47回日本小児腎臓病学会学術集会 2012年6月29~30日 東京
  33. 中西浩一: ARPKDの病態・遺伝子診断 シンポジウム2 小児嚢胞性腎疾患の病因・病態の解明と診断・治療の進歩 座長兼任 第34回日本小児腎不全学会学術集会 2012年9月13~14日 洲本(兵庫県・淡路島)
  34. <特別講演>中西浩一: エビデンスに基づく小児腎臓病治療 Chiba Pediatric Nephrology Forum 2012年10月18日 千葉
  35. <特別講演>中西浩一: 遺伝性ネフローゼ症候群と多発性嚢胞腎 第22回北海道小児腎臓病研究会 2012年10月20日 札幌
  36. <特別講演>中西浩一: アルポート症候群と多発性嚢胞腎 第11回弘前小児腎疾患フォーラム 2012年10月26日 弘前
  37. 土井悦子, 小林真紀子, 今寿賀子, 前田敦子, 山田聖子, 松野敏宏, 乳原善文. 当院透析患者のGNRIを用いた栄養評価, 第15回に本病態栄養学会学術集会, 2012. 1. 14-15,
  38. 阿部雅弘, 乳原善文, 早見典子, 三瀬広記, 今福礼, 川田真宏, 住田圭一, 山内真之, 諏訪部達也, 平松里佳子, 長谷川詠子, 星野純一, 澤直樹, 高市憲明. 大橋健一. IVCYが著効したシェーグレン症候群に合併したクリオグロブリン血症の一例. 第56回日本リウマチ学会学術集会, 2012. 4. 26-28,
  39. 今福 礼, 乳原善文, 早見典子, 長谷川詠子, 住田圭一, 川田真宏, 諏訪部達也, 星野純一, 平松里佳子, 三瀬広記, 山内真之, 星野純一, 澤 直樹, 高市憲明. Tocilizumabが有効であった高度の関節破壊を伴う関節リウマチの姉妹例, 第56回日本リウマチ学会学術集会, 2012. 4. 26-28
  40. 三瀬広記, 乳原善文, 早見典子, 今福礼, 川田真宏, 濱之上哲, 住田圭一, 諏訪部達也, 星野純一, 平松里佳子, 長谷川詠子, 山内真之, 澤 直樹, 大橋健一, 藤井文士, 高市憲明. 多剤併用療法を行うことで良好な治療経過が得られた難治性 CNS Lupus の1例, 第56回日本リウマチ学会学術集会, 2012. 4. 26-28
  41. 山内真之, 乳原善文, 今福 礼, 川田真宏, 三瀬広記, 住田圭一, 平松里佳子, 長谷川詠子, 早見典子, 諏訪部達也, 星野純一, 澤 直樹, 高市憲明, 大橋健一, 藤井文士, 松田正之, 池田修一. 高血圧および慢性炎症により腎硬化症を呈したと考えられた家族性地中

- 海熱患者の一例. 第 56 回に本リウマチ学会学術集会, 2012. 4. 26-28
42. 住田圭一、乳原善文、三瀬広記、濱ノ上哲、早見典子、諏訪部達也、星野純一、平松里佳子、長谷川詠子、山内真之、澤 直樹、高市憲明. 腎障害を合併した関節リウマチ患者に対するトシリズマブの有効性と安全性. 第 56 回に本リウマチ学会学術集会, 2012. 4. 26-28
  43. 早見典子、乳原善文、星野純一、諏訪部達也、住田圭一、遠藤彰子、三瀬広記、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、澤 直樹、高市憲明. 関節リウマチ患者における膜性腎症の検討、ブシラミン膜性腎症とその他の膜性腎症との比較. 第 56 回に本リウマチ学会学術集会, 2012. 4. 26-28
  44. 長谷川詠子、乳原善文、澤 直樹、山内真之、平松里佳子、今福 礼、川田真宏、三瀬広記、住田圭一、遠藤彰子、早見典子、諏訪部達也、星野純一、高市憲明、黒田陽子、大橋健一、藤井文士. 腎障害を呈した抗リン脂質抗体症候群の検討. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  45. 遠藤彰子、乳原善文、住田圭一、三瀬広記、山野水紀、早見典子、諏訪部達也、川田真宏、今福 礼、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、澤 直樹、星野純一、高市憲明、黒田陽子、大橋健一. 腎小動脈の血管炎合併からみた ANCA 関連腎炎の検討. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  46. 川田真宏、乳原善文、星野純一、今福 礼、三瀬広記、住田圭一、平松里佳子、山内真之、早見典子、長谷川詠子、澤 直樹、高市憲明、大橋健一. 腎生検組織所見からみた原発性 AL アミロイドーシスに対する自家末梢血幹細胞移植 (SCT) を併用した大量メルファラン療法の治療効果の検討. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  47. 今福 礼、乳原善文、諏訪部達也、遠藤彰子、住田圭一、長谷川詠子、早見典子、平松里佳子、三瀬広記、山内真之、山野水紀、星野純一、澤 直樹、高市憲明、大橋健一. 扁摘パルスを施行した腎不全合併 IgA 腎症の検討. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  48. 平松里佳子、乳原善文、伊藤明美、諏訪部達也、住田圭一、山内真之、長谷川詠子、澤 直樹、高市憲明. 10 年以上の長期透析歴をもつ 1 型糖尿病患者における骨病変の検討. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  49. 飯島 崇、乳原善文、諏訪部達也、早見典子、住田圭一、三瀬広記、今福 礼、川田真宏、平松里佳子、遠藤彰子、山野水紀、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤 直樹、高市憲明. 多発性嚢胞肝症例に対するウルソデオキシコール酸 (UDCA) の治療の試み. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  50. 三瀬広記、乳原善文、諏訪部達也、住田圭一、今福礼、川田真宏、遠藤彰子、山野水紀、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、早見典子、星野純一、澤 直樹、高市憲明、大橋健一. 腎生検にて診断された糖尿病性腎症の 10 年腎予後の検討. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  51. 住田圭一、乳原善文、三瀬広記、今福 礼、川田真宏、山野水紀、遠藤彰子、早見典子、諏訪部達也、平松里佳子、長谷川詠子、山内真之、星野純一、澤 直樹、高市憲明、大橋健一. MPO-ANCA 関連腎炎を合併した多発性嚢胞腎症例からの考察.
  52. 服部吉成、乳原善文、住田圭一、早見典子、諏訪部達也、三瀬広記、遠藤彰子、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤 直樹、高市憲明、森山 仁. 多発性嚢胞腎における臍ヘルニアの検討.
  53. 諏訪部達也、乳原善文、濱之上哲、三瀬広記、住田圭一、早見典子、星野純一、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、澤直樹、高市憲明. ADPKD 患者の QOL (quality of life) に及ぼす腎 TAE の治療効果についての研究. 第 55 回日本腎臓学会学術集会, 2012. 6. 1-3
  54. 土谷良樹、乳原善文、諏訪部達也、住田圭一、早見典子、三瀬広記、今福 礼、川田真宏、遠藤彰子、山野水紀、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤直樹、高市憲明. IgA 腎症による維持透析の 10 年以上経過後に発症した潰瘍性大腸炎の 2 症例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
  55. 遠藤彰子、乳原善文、住田圭一、三瀬広記、山野水紀、早見典子、諏訪部達也、川田真宏、今福 礼、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤 直樹、高市憲明、大橋健一. 維持透析に至った ANCA 関連腎炎 14 例の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
  56. 佐藤朝日、乳原善文、川田真宏、今福 礼、三瀬広記、遠藤彰子、住田圭一、早見典子、諏訪部達也、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、田中希穂、丸井祐二、森山仁、橋本雅司、高市憲明、富川伸二. 血液透析患者における下部消化管穿孔例の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
  57. 山野水紀、乳原善文、諏訪部達也、早見典子、住田圭一、遠藤彰子、三瀬広記、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤直樹、高市憲明. ADPKD に脳動脈瘤、ANCA 関連急速

- 進行性腎炎と急性大動脈解離を合併した一例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
58. 早見典子, 乳原善文, 丸井祐二, 諏訪部達也, 住田圭一, 三瀬広記, 遠藤彰子, 田中希穂, 平松里佳子, 山内真之, 長谷川詠子, 星野純一, 澤 直樹, 高市憲明, 富川伸二, 藤井丈士. 透析関連腎癌 26 例における画像評価と組織学的特徴の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
59. 住田圭一, 乳原善文, 三瀬広記, 山野水紀, 遠藤彰子, 早見典子, 諏訪部達也, 平松里佳子, 長谷川詠子, 山内真之, 星野純一, 澤 直樹, 高市憲明. 長期血液透析患者の死因に寄与する因子の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
60. 野中香苗, 乳原善文, 住田圭一, 長谷川詠子, 星野純一, 三瀬広記, 早見典子, 山内真之, 諏訪部達也, 澤 直樹, 高市憲明, 中山大子, 藤井丈士. 心臓弁置換術約 2.5 年に calciphylaxis による難治性多発性皮膚潰瘍を呈した 1 例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
61. 関根章成, 長谷川詠子, 乳原善文, 今福礼, 川田真宏, 三瀬広記, 遠藤彰子, 平松里佳子, 住田圭一, 山内真之, 早見典子, 諏訪部達也, 星野純一, 澤 直樹, 高市憲明, 河野 匡. APD にて増悪を認め胸腔鏡下横隔膜縫縮術にて治癒した横隔膜交通症の一例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
62. 三瀬広記, 乳原善文, 住田圭一, 濱之上哲, 早見典子, 諏訪部達也, 星野純一, 平松里佳子, 長谷川詠子, 山内真之, 澤 直樹, 橋本雅司, 藤井丈士, 笹野公伸, 高市憲明. 20 年の長期血液透析経過中, 心性肥満, 低 K 血症と両側大腿骨頭壊死にて Cushing 症候群の診断に至った 1 例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
63. 諏訪部達也, 乳原善文, 三瀬広記, 住田圭一, 早見典子, 平松里佳子, 山内真之, 長谷川詠子, 星野純一, 澤 直樹, 高市憲明. ADPKD における嚢胞感染症. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
64. 諏訪部達也, 乳原善文, 三瀬広記, 山野水紀, 遠藤彰子, 住田圭一, 早見典子, 平松里佳子, 山内真之, 長谷川詠子, 星野純一, 澤 直樹, 田中希穂, 富川伸二, 高市憲明. シンポジウム 1, 透析医療と男女共同参画, 虎の門病院の現状. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
65. 澤 直樹, 乳原善文, 高市憲明, 谷口修一. シンポジウム 3, AKI と透析導入-そのタイム
- ングを計る, 同種幹細胞移植周術期における血液浄化療法. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
66. 喜多島出, 弘田 裕, 奥津一郎, 山本精三, 高市憲明, 乳原善文. 長期血液透析患者に伴う合併症と考えられた両側足根管症候群の 2 症例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
67. 松本優子, 浅沼克彦, 草場 岳, 鈴木 仁, 合田朋仁, 大澤 勲, 堀越 哲, 富野康日己, 乳原善文. 多発性嚢胞腎の経過中に臍ヘルニア嵌頓を発症した 1 例. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
68. 田中希穂, 丸井祐二, 富川伸二, 乳原善文, 高市憲明. 心疾患を合併した生体腎移植の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
69. 石井弘章, 伊豫田誠子, 比毛 稔, 松野敏宏, 諏訪部達也, 乳原善文, 高市憲明, 石綿清雄. 多発性嚢胞腎への腎 TAE 施行後のドライウェイト評価における BIA 法の有用性. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
70. 佐藤希望, 伊豫田誠子, 岡田奈美, 小平桂, 塩野公子, 關谷 翔, 谷 久明, 松野敏宏, 石綿清雄, 乳原善文, 高市憲明. 蛍光顕微鏡を用いた蛍光染色法の評価. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
71. 星野純一, 乳原善文, 高市憲明, UCLA Molnar Miklos, Kalantar-Zadeh Kamyar. 透析患者における新たな血糖値-HbA1c 値相関モデルの検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
72. 伊豫田誠子, 佐藤希望, 比毛 稔, 松野敏宏, 石綿清雄, 乳原善文, 高市憲明. 腎動脈塞栓法で CRP, 血小板の変化と抗凝固量の検討. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
73. 岡田奈美, 渋谷健一郎, 松野敏宏, 田中雅之, 石綿清雄, 乳原善文, 高市憲明. 透析患者急変対応 (HDLS) コース-アナフィラキシー編. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
74. 比毛 稔, 石井弘章, 菊池 淳, 石綿清雄, 能美亜紀子, 乳原善文, 高市憲明. 透析室における災害訓練後に東日本大震災を経験して. 第 57 回日本透析医学会学術集会, 2012. 5. 22-24
75. 平松里佳子, 乳原善文, 住田圭一, 早見典子, 諏訪部達也, 山内真之, 長谷川詠子, 澤 直樹, 高市憲明, 喜多島出, 弘田 裕. 著明な異所性石灰化を呈した無形性骨症の 1 例. 第 30 回日本骨代謝学会, 2012. 7. 19-21
76. 江坂真理子, 濱之上哲, 乳原善文, 諏訪部達

- 也、三瀬広記、住田圭一、平松里佳子、早見典子、長谷川詠子、山内真之、星野純一、澤直樹、丸井祐二、北島和樹、田中希穂、富川伸二、高市憲明。虎の門病院においてADPKD患者に導入した腹膜透析の現状。第19回日本腹膜透析医学会学術集会総会，2012.9.22-23
77. 諏訪部達也、乳原善文、三瀬広記、住田圭一、早見典子、星野純一、北島和樹、丸井祐二、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、澤直樹、田中希穂、富川伸二、高市憲明。12年間のCAPD療法後に生体腎移植を施行した14歳女児の1例。第19回日本腹膜透析医学会学術集会総会，2012.9.22-23
78. 関根章成、長谷川詠子、乳原善文、今福礼、川田真宏、三瀬広記、遠藤彰子、平松里佳子、住田圭一、山内真之、早見典子、諏訪部達也、星野純一、澤直樹、高市憲明、河野匡。APDにて増悪を認め胸腔鏡下横隔膜縫縮術にて治癒した横隔膜交通症の1例。第19回日本腹膜透析医学会学術集会総会，2012.9.22-23
79. 諏訪部達也。シンポジウム1 多発性嚢胞腎における腎動脈、肝動脈塞栓療法(TAE)の有用性と今後の展望、常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)患者の腫大腎に対する腎動脈塞栓術(TAE)。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
80. 星野純一。シンポジウム1 多発性嚢胞腎における腎動脈、肝動脈塞栓療法(TAE)の有用性と今後の展望、多発性嚢胞肝に対する肝動脈塞栓術の適応と今後の展望。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
81. 阿部雅広、乳原善文、諏訪部達也、三瀬広記、浜之上哲、住田圭一、早見典子、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤直樹、高市憲明、藤井丈士、河野匡。不明熱の原因がPET-CTにて胸腺腫と診断された多発性嚢胞腎の1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
82. 稲永淳一、乳原善文、諏訪部達也、星野純一、住田圭一、三瀬広記、浜之上哲、早見典子、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、澤直樹、高市憲明、大橋健一、藤井丈士。高度な肥満患者に発症した巣状糸球体硬化症の1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
83. 遠藤彰子、乳原善文、三瀬広記、住田圭一、平松里佳子、長谷川詠子、山内真之、早見典子、諏訪部達也、星野純一、澤直樹、高市憲明、松野直史、和氣敦、大田泰徳。透析導入期にEPO抵抗性貧血を来し血球貪食症候群を伴う赤芽球癆と診断された1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
84. 遠藤彰子、乳原善文、住田圭一、三瀬広記、早見典子、諏訪部達也、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、澤直樹、高市憲明、黒田陽子\*、大橋健一、藤井丈士、平野資真。腎内小動脈に高度の血管炎を認めたPR3-ANCA陽性granulomatosis with polyangiitisの1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
85. 関根章成、乳原善文、澤直樹、三瀬広記、川田真宏、今福礼、住田圭一、諏訪部達也、早見典子、平松里佳子、長谷川詠子、星野純一、松野敏宏、和氣敦、大田泰徳、高市憲明。維持透析中に発症した慢性骨髄性白血病に対する第二世代チロシンキナーゼ阻害剤の治療経験。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
86. 今福礼、乳原善文、早見典子、長谷川詠子、澤直樹、星野純一、住田圭一、諏訪部達也、平松里佳子、三瀬広記、山内真之、高市憲明。治療抵抗性の血小板減少症、腎嚢胞感染に対して腎動脈塞栓術が有効であったSLE合併ADPKDの1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
87. 坂本憲一、乳原善文、住田圭一、浜之上哲、今福礼、川田真宏、三瀬広記、諏訪部達也、早見典子、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤直樹、大橋健一、藤井丈士、高市憲明。多彩な蛍光所見を呈したAA-アミロイド腎症合併関節リウマチの1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
88. 三瀬広記、乳原善文、濱之上哲、住田圭一、早見典子、諏訪部達也、星野純一、平松里佳子、長谷川詠子、山内真之、澤直樹、大橋健一、藤井丈士、松本雅則、藤村吉博、高市憲明。壮絶な臨床経過と遺伝学的検索にて診断が確定した先天性TTP(Upshaw-Schulman症候群)の1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
89. 山野水紀、住田圭一、乳原善文、諏訪部達也、早見典子、三瀬広記、浜之上哲、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤直樹、高市憲明、木村哲也。Cefepime(マキシビーム)投与中に意識障害を生じた透析患者の1例。第42回日本腎臓学会東部学術大会，2012.10.13-14
90. 住田圭一、乳原善文、丸井祐二、三瀬広記、濱之上哲、早見典子、諏訪部達也、星野純一、平松里佳子、長谷川詠子、山内真之、澤直樹、高市憲明、富川伸二、大橋健一。移植後

- の再発性腎炎にて確定した PGNMID の一例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
91. 早見典子、乳原善文、星野純一、諏訪部達也、住田圭一、三瀬広記、平松里佳子、長谷川詠子、山内真之、澤 直樹、高市憲明、田中希穂、丸井祐二、富川伸二. 腎移植後に顕在化した抗リン脂質抗体症候群による血栓性微小血管障害 (TMA) の一例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
  92. 長谷川夕希子、住田圭一、乳原善文、諏訪部達也、三瀬広記、浜之上哲、平松里佳子、山内真之、長谷川詠子、星野純一、澤 直樹、高市憲明、大橋健一、藤井丈士. 薬物治療がなされず高度の関節破壊を来した関節リウマチ患者に発症した ANCA 関連血管炎の 1 例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
  93. 土谷良樹、今瀬敦子、乳原善文、諏訪部達也、住田圭一、早見典子、星野純一、高市憲明、大橋健一、藤井丈士. 血栓性微小血管障害症と悪性腎硬化症に加え肺出血を伴った高血圧性緊急症の一例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
  94. 飯島 崇、乳原善文、三瀬広記、浜之上哲、住田圭一、平松里佳子、山内真之、早見典子、長谷川詠子、諏訪部達也、星野純一、澤 直樹、谷口修一、大橋健一、藤井丈士、高市憲明. Retuximab を含む抗腫瘍剤に効かず tocilizumab が効果的であった AA-amyloid 合併 MCD の一例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
  95. 浜之上哲、乳原善文、諏訪部達也、住田圭一、三瀬広記、長谷川詠子、平松里佳子、山内真之、星野純一、澤 直樹、高市憲明、木脇圭一、大橋健一、藤井丈士. Tocilizumab が奏功した家族性地中海熱合併 AA 型アミロイドーシスの 1 例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
  96. 川田真宏、澤 直樹、乳原善文、今福 礼、三瀬広記、平松里佳子、住田圭一、長谷川詠子、山内真之、早見典子、諏訪部達也、星野純一、高市憲明、大橋健一. 再燃時に経過中に半月体形成系球体腎炎と心筋障害を新規発症した好酸球性肉芽腫性多発血管炎の一例. 第 42 回日本腎臓学会東部学術大会, 2012. 10. 13-14
  97. 長船 健二. パイオニア-3 「iPS 細胞を用いた腎臓再生と新規疾患モデルの作製」. 第 47 回日本小児腎臓病学会学術集会. 都市センターホテル(東京). 2012 年 6 月 29 日. (招待講演)
  98. 長船 健二. シンポジウム1. 腎臓を創る—乗り越えるべき課題とその方策「腎臓再生に向けたヒト iPS 細胞から中間中胚葉への高効率分化誘導法の開発」. 第 55 回日本腎臓学会学術総会. パシフィコ横浜(神奈川). 2012 年 6 月 1 日. (招待講演)
  99. 前 伸一、庄野 朱美、塩田 文彦、小川 誠司、McMahon Andrew P.、山中 伸弥、長船 健二. 「ヒト iPS 細胞から腎構成細胞に分化する中間中胚葉への高効率分化誘導法の確立」. 第 55 回日本腎臓学会学術総会. パシフィコ横浜(神奈川). 2012 年 6 月 1 日.
  100. 荒岡 利和、豊原 敬文、塩田 文彦、前 伸一、黒瀬 裕子、太田 章、山中 伸弥、長船 健二. 「低分子化合物を用いたヒト iPS 細胞から中間中胚葉への高効率分化誘導法の開発」. 第 55 回日本腎臓学会学術総会. パシフィコ横浜(神奈川). 2012 年 6 月 1 日.
  101. 笠原 朋子、近本 裕子、沖田 圭介、浅香 勲、服部 元史、長船 健二. 「常染色体劣性多発性嚢胞腎 (ARPKD)」特異的 iPS 細胞を用いた病態解析研究」. 第 55 回日本腎臓学会学術総会. パシフィコ横浜(神奈川). 2012 年 6 月 2 日.
  102. 天久 朝廷、荒岡 利和、田浦 大輔、丹羽 明、菅又 龍一、曾根 正勝、斎藤 潤、浅香 勲、武曾 恵理、深津 敦司、中畑 龍俊、中尾 一和、鈴木 和男、長船 健二. 「顕微鏡的多発血管炎 (MPA)」特異的 iPS 細胞の樹立と病態解析研究」. 第 55 回日本腎臓学会学術総会. パシフィコ横浜(神奈川). 2012 年 6 月 3 日.
  103. 前 伸一、長船 健二. 「ヒト多能性幹細胞から腎臓系譜に分化する中間中胚葉細胞の高効率な分化誘導法の確立」. 日本組織培養学会第 85 回大会. 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール(京都). 2012 年 5 月 17 日.
  104. 中沢大悟、外丸詩野、西尾妙織、渥美達也、笠原正典、石津明洋: Abnormal conformation and impaired degradation of neutrophil extracellular traps (NETs) induced by propylthiouracil: Implication of disordered NETs in MPOANCA-associated vasculitis. 第 41 回日本免疫学会学術集会 2012 年 12 月 7 日 神戸市
  105. 豊山貴之、松岡奈央子、山本準也、佐藤亜樹子、中沢大悟、中垣祐、石川康暢、柴崎跡也、西尾妙織: 当院における IgA 腎症の扁桃摘出術+ステロイドパルス療法の治療成績. 第 67 回北海道臨床腎臓研究会 2012 年 11 月 9 日 札幌市
  106. 松岡奈央子、西尾妙織、山本準也、豊山貴之、

- 佐藤亜樹子, 中垣祐, 中沢大悟, 石川康暢, 柴崎跡也, 渥美達也: 道内の透析施設に対するC型慢性肝炎についてのアンケート調査結果. 第82回北海道透析療法学会学術集会 2012年11月4日 札幌市
107. 山本準也, 中沢大悟, 塚口裕康, 松岡奈央子, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: フォルミンINF2変異が同定された腎移植希望の家族性巣状糸球体硬化症 (FSGS) の1例. 第7回北海道腎カンファレンス 2012年10月19日 札幌市
108. 松岡奈央子, 豊山貴之, 山本準也, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 中沢大悟, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: ステロイド治療中に急激な腎機能障害を認めた一例. 第42回日本腎臓学会東部学術大会 2012年10月14日 新潟市
109. 山本準也, 石川康暢, 松岡奈央子, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 中沢大悟, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: HIV感染を合併したHCV関連腎炎の1例. 第42回日本腎臓学会東部学術大会 2012年10月13日 新潟市
110. 中沢大悟, 西尾妙織, 外丸詩野, 石津明洋: プロピルチオウラシルによるNeutrophil Extracellular Traps (NETs)の形成・分解障害はMPO-ANCA関連血管炎の病態機序に関与する. 第3回分子腎臓フォーラム 2012年9月1日 東京
111. 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 来海美穂, 中沢大悟, 中垣祐, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: 二重濾過血漿交換療法を併用したIFN, リバビリン療法によってHCV-RNAの陰性化に成功した維持血液透析患者の一例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会 2012年6月22-24日 札幌市
112. 柴崎跡也, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 来海美穂, 中垣祐, 中沢大悟, 石川康暢, 西尾妙織: 嚢胞感染の診断にFDG-PET/CTが有用であった常染色体優性多発性嚢胞腎の1例. 第57回日本透析医学会学術集会・総会 札幌 2012年6月22日-24日
113. 山本準也, 中沢大悟, 塚口裕康, 松岡奈央子, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: フォルミンINF2変異が同定された腎移植希望の家族性巣状糸球体硬化症 (FSGS) の1例. 第263回日本内科学会北海道地方会 2012年6月16日 札幌市
114. 石川康暢, 西尾妙織, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 来海美穂, 中垣祐, 中沢大悟, 柴崎跡也, 吉永恵一郎: 蛋白尿を伴う高血圧症患者における血管内皮機能の検討. 第55回日本腎臓学会総会 2012年6月3日 横浜市
115. 佐藤亜樹子, 来海美穂, 豊山貴之, 中垣祐, 中沢大悟, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織: 当院における保存期CKD患者に対するDarbepoetin Alfaの使用実態. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
116. 中垣祐, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: 常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD)モデルマウスを用いた降圧薬投与実験及び腎内RAS関与についての解析. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
117. 中沢大悟, 西尾妙織, 外丸詩野, 石津明洋: プロピルチオウラシルによる好中球細胞外トラップの形成・分解障害はMPO-ANCA関連血管炎を誘導する. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
118. 来海美穂, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 中沢大悟, 石川康暢, 柴崎跡也, 伊藤政典, 深澤雄一郎, 西尾妙織: 2型糖尿病腎症に対するIFN $\gamma$ の役割について. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
119. 豊山貴之, 石川康暢, 松岡奈央子, 山本準也, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 中沢大悟, 柴崎跡也, 西尾妙織, 森田研, 野々村克也, 渥美達也: 周術期に苦慮したpreemptive腎移植の一例. 第81回北海道透析療法学会 2012年5月20日 旭川市
120. 中沢大悟, 西尾妙織, 外丸詩野, 石津明洋: プロピルチオウラシルによるNETs (neutrophil extracellular traps)の形成および分解障害とMPO-ANCAの産生: MPO-ANCA関連血管炎の発症機序 第57回日本リウマチ学会総会・学術総会, 2012年4月20日 東京
121. 山本準也, 中沢大悟, 塚口裕康, 松岡奈央子, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 中垣祐, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: フォルミンINF2変異が同定された腎移植希望の家族性巣状糸球体硬化症 (FSGS) の1例. 第8回北海道腎疾患を考える会 2012年5月12日 札幌市
122. 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 来海美穂, 中垣祐, 中沢大悟, 石川康暢, 柴崎跡也, 西尾妙織, 渥美達也: 原発性マクログロブリン血症による膜性増殖性糸球体腎炎の一例検例. 第262回日本内科学会北海道地方会 2012年2月18日 札幌市
123. 石川康暢, 柴崎跡也, 豊山貴之, 佐藤亜樹子, 来海美穂, 中垣祐, 中沢大悟, 森田研, 西尾妙織, 野々村克也: シンポジウム「酵素補充療法開始後に生体腎移植を施行

- したFabry病患者の経験」. 第45回日本臨床腎移植学会総会2012年2月2日 軽井沢町
124. 香村衡一. 多発性嚢胞の腎摘除例の検討. 第20回嚢胞性腎疾患研究会. 2012. 9. 16、東京
125. 鶴屋和彦, 吉田寿子, 北園孝成: 国公立大学病院でのPD展開の効果と課題. 第18回日本腹膜透析医学会学術集会・総会, 徳島, 2012年11月. <シンポジウム>
126. 鶴屋和彦, 藤元昭一, 井上亨: 透析患者の無症候性脳血管障害の総括～JSDT, 脳ドック, 脳卒中学会ガイドラインをふまえて. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 札幌, 2012年6月. <ワークショップ>
127. 鶴屋和彦, 吉田寿子, 藤崎毅一郎, 北園孝成: 脳機能保護および脳萎縮予防からみた腎性貧血治療. 第57回日本透析医学会学術集会・総会, 札幌, 2012年6月. <シンポジウム>
128. 鶴屋和彦, 吉田寿子, 川口淳, 藤崎毅一郎, 山田俊輔, 土本晃裕, 田中茂, 末廣貴一, 中野敏昭, 谷口正智, 北園孝成: 保存期慢性腎臓病患者における貧血の脳萎縮に及ぼす影響. 第55回日本腎臓学会学術総会, 横浜, 2012年6月. <口演>
129. 鶴屋和彦, 北園孝成: ファブリー病腎移植患者の予後と酵素補充療法の意義. 第45回日本臨床腎移植学会, 軽井沢, 20
130. 土谷ら. 非ホジキンリンパ腫患者における蛋白尿と生命予後との関連. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
131. 潮平, 土谷ら. Sphingosine-1-phosphateレセプター3は腎臓に繊維化に重要である. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
132. 原, 土谷ら. 高hepcidin血症はnon-Hodgkin lymphoma患者の生命予後と関連する. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
133. 杉浦, 土谷ら. Klotho発現と腎線維化、TGFとの関連. 第55回日本腎臓学会学術総会 2012年6月2日 横浜市
134. 森戸, 土谷ら. 同種造血細胞移植後の生着以前発症性急性腎障害と生命予後の関連. 第57回日本透析医学会学術集会 H24 6月 札幌
135. 公平, 土谷ら. 腎移植ドナーの周術期に有用なバイオマーカーの検討. 第57回日本透析医学会学術集会 H24 6月 札幌

2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業））  
分担研究報告書

疫学・疾患登録分科会

責任研究分担者

横山 仁 金沢医科大学医学部 腎臓内科学・教授

研究分担者

渡辺 毅 福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学・教授

長田道夫 筑波大学医学医療系生命医科学域病理学（腎・血管病理学）・教授

研究協力者

佐藤 博 東北大学大学院 薬学研究科臨床薬学分野・教授

杉山 斉 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 慢性腎臓病対策腎不全治療学・教授

清原 裕 九州大学大学院医学研究院 環境医学分野・教授

西 慎一 神戸大学大学院腎臓内科 腎・血液浄化センター・特命教授

川端雅彦 富山県立中央病院内科（腎臓・高血圧）・内科部長

両角國男 名古屋第二赤十字病院・副院長

佐々木環 川崎医科大学医学部 腎臓・高血圧内科学・教授

鶴屋和彦 九州大学大学院 包括的腎不全治療学・准教授

江田幸政 仁誠会クリニック光の森・院長

樋口 誠 信州大学医学部附属院 血液浄化療法部・腎臓内科・准教授

清元秀泰 東北大学東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門統合遠隔腎臓内科学分野（兼務：香川大学医学部・非常勤講師）・教授

服部元史 東京女子医科大学 腎臓小児科・教授

香美祥二 徳島大学医学部 小児科・教授

幡谷浩史 東京都立小児総合医療センター 腎臓内科・医長

吉川徳茂 和歌山県立医科大学 小児科・教授

深澤雄一郎 市立札幌病院 病理診断科・部長

岡一雅 兵庫県立西宮病院 病理診断科・医長

上田善彦 獨協医科大学越谷病院 病理部・教授

北村博司 国立病院機構千葉東病院 臨床研究センター・部長

清水 章 日本医科大学 解析人体病理学・准教授

笹富佳江 福岡大学病院 腎臓・膠原病内科・講師

後藤 眞 新潟大学院医歯学総合研究科 腎膠原病内科・講師

中川直樹 旭川医科大学・内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野・特任助教

伊藤孝史 島根大学医学部附属病院 腎臓内科・診療教授

内田俊也 帝京大学医学部・内科・教授

古市賢吾 金沢大学附属病院・腎臓内科（血液浄化療法部）・准教授

中屋来哉 岩手県立中央病院・腎臓内科・医長

廣村桂樹 群馬大学大学院医学系研究科・生体統御内科学・准教授

吉村光弘 金沢医療センター 腎膠原病内科・診療部長

平和伸仁 横浜市立大学附属市民総合医療センター血液浄化療法部／腎臓・高血圧内科・准教授

重松 隆 和歌山県立医科大学 腎臓内科学・教授

深川雅史 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科・教授

梅村 敏 横浜市立大学大学院医学研究科・病態制御内科学（循環器・腎臓内科学教室）・教授

平松 信 岡山済生会総合病院 腎臓病センター・副院長

上村 治 あいち小児保健医療総合センター・腎臓科・副センター長

河田哲也 国立病院機構北海道医療センター 腎臓内科・総合診療科・副院長

松永 明 山形市立病院済生館 小児科・主任医長